

On Air

むさしのFM市民の会だより Vol.30 オン・エアー 2020

市民が創る
むさしのFM78.2MHz
広報紙

私のとっておきの武蔵野

*春!庭がもっこり、もっこり。
モグラだ。逆さの植木鉢で冬眠していた
怠け者のカエルは落ち葉を頭に。胸をそらし
威張ったトカゲを手に乗せて遊んだ幼い日々。
燕は五日市街道を低空飛行していたっけ。

懐かしいなあ。
竹山悠紀子(東町)

*境で生まれ育った私は
今から70年近く前の
真夏の夕餉の後、自宅から
井の頭の花火を見たことを
鮮明に覚えています。
今では孫の手を引いて
井の頭を散歩するのが至福の
ひと時となりました。

志賀和男(境南)

*スイスは春の訪れとともに、
周りの色がすっかり変わる。
そんな景色を当たり前に
23年すこし、帰国して早9年。
ここ武蔵野をお店と共に
新たな居場所を築いていきたい。

高口智美(緑町)

*子供の頃から大好きだった
「アトリエニキティキ」は、今や息子の
大のお気に入り。お買い物帰りに立ち寄ると、
木でできた色とりどりのおもちゃ達が
賑やかに迎えてくれます。

小林沙羅(杉並区)

*ハピネスセンター前の榎並木。
夏の炎天下、近隣住民にとって巨樹の
木陰は通り過ぎるだけで心安らぐ。
今建設中の外環道の出入道路で
通過出来なくなる。住民の暮らしは無視?

野村まり子(三鷹市)

*五日市街道の真ん中を
流れる千川上水両側の歩道。
道路側にツツジ、川辺に榎や樺、
足元にタンポポ、野すみれ、花菖蒲。
川には亀や小さな白鷺の姿も。
愛犬との散歩道です。

野口満理子(境)

特集

むさしのFM開局25周年 ～共に歩んだ25年～

..... p. 2 ~ 3

「むさしのtoday」2019.4/1~2020.3/31..... p. 4 ~ 5

「発信!わがまち・武蔵野人」2019.4/5~2020.3/27... p. 6 ~ 7

「フクシマを思うシリーズ」報告 他..... p. 8

特集 むさしのFM 開局



新たな門出

市民の会も共に歩んで25年!!

25年の節目は銀婚

いぶし銀の魅力これからも



25周年

～共に歩んだ25年～

今年は新型コロナウイルスの影響で、多くの皆さんと“一区切り”の集いを行うことはできませんが、お寄せくださったお祝いの言葉を追い風にこれからの25年をスタートします。それぞれの立場での「思い」の詰まった原稿をありがとうございました。むさしのFM市民の会代表 小餅



これからも、市民参加で武蔵野の魅力発信を!

武蔵野市長 松下 玲子

むさしのFMが開局25周年を迎えました。25年という節目を迎え、長きに亘り市民の皆さまからの情報発信を継続して取り組んでいらっしゃる、むさしのFM・市民の会の皆さまの様々なご尽力に感謝と敬意を表します。

まちの情報や、まちで活躍する多彩なゲストをお招きして放送する「発信!わがまち・武蔵野人」も回を重ねて、続いています。

番組の企画やゲストのコーディネートと、まさに市民参加で武蔵野の魅力を発信されていると思います。

これからも地域に根差した情報発信を、積極的に行っていただきたいと思っています。

むさしのFM・市民の会の益々のご発展を祈念して、お祝いのメッセージといたします。



ご挨拶

株式会社エフエムむさしの
代表取締役社長 小島 祐一

むさしのFM市民の会の皆様方には、日頃より弊社放送事業のためにご協力を賜り、誠にありがとうございます。皆様方のご活動のおかげにより、弊社も地域メディアとして継続できたものと思います。

開局から25年を経過し、弊社の役割も地域情報や災害時での発信だけでなく、子育て支援として童話の読み聞かせ番組を毎晩放送している他に、高齢者の方々の転倒防止、認知症抑制のためのトレーニング番組の放送など、映像のないラジオだからこそできるものがあると確信しております。

現在全国的には7人に一人が75歳以上という状況の中、ぜひ弊社のラジオ放送により、人生100年時代を健康的に送っていただきたいと心からお願い申し上げます、私のご挨拶といたします。



コミュニティFM前史

週刊きちじょうじ編集長 大橋 一範

LAに、小さなFM局が沢山あり、帰国後に恩師の生田正輝先生(平成7年まで電波監理審議会会長)に「日本にもコミュニティサイズの放送局を」と提案。数年すると「お前の言う放送作っただよ」とコミュニティFMの制度が誕生。生田先生と木村太郎さんと霞が関ビルの喫茶店で合い「オレ葉山でやるから、吉祥寺で頑張れよ」と木村さん。でも武蔵野は市主導でスタート。関東圏でハヤマFMが一番早く、東京最初の開局はむさしのFMです。週刊きちじょうじ20周年、1994年6月6日「市民と地域メディアシンポジウム」を前進座劇場と吉祥寺南町コミセンで開催。生田正輝先生、木村太郎ハヤマFM(現湘南ビーチFM)社長、仲宇佐達也(NTT武蔵野研究開発センタ)、土屋正忠武蔵野市長らが基調講演。「土屋市長に言われて、FMの担当に」と沼田健さんが事務所に飛び込んできて「シンポに参加しておけばよかった」と一言。株式会社エフエムむさしの設立が1994年10月19日、そして開局日1995年3月28日。当時の週刊きちじょうじには開局関連記事。1995年4月7日号には「ボランティアが支えるコミュニティ情報」がタイトル。その歴史は今も続いています。



「むさしのFM25周年」に寄せて

アナウンサー・司会・ナレーション 宮原 靖子

東 京都で初めてのコミュニティラジオ局 災害時に一早く正確な情報を伝えられる。フリーアナウンサーの私が自分の暮らすこの街でも何か役に立てるかもしれない…。

そんな気持ちで扉を叩いた。イベント司会、子育て番組、ゲストトーク、レポートなど数え切れぬ程の街の皆様との繋がりが。

ここだからこそ見える大切な「もの」「こと」それが私の原点。これからもその想いを忘れずに語り続けていこうと思う。スイッチ入れて聴こえた声がいつもと変わらない事。

それが私から皆様への感謝の想い。

「25年間ありがとう」



むさしのFM

お父さんお帰らないさいパーティ実行委員会
委員長 田中 邦忠

むさしのFM開局25周年、それを支える「むさしのFM市民の会」の継続的な活動、本当に素晴らしいと思います。一方、私は地域活動経験5年程度とまだまだ駆け出しですが、日々予定を詰め込んで楽しく活動させていただいています。活動を続けているのは、やはり「楽しいから」と言うのが最大の要素です。利害関係、肩書・経歴を離れた人間と人間の関りから生まれる地域活動。さまざまな新しい出会いが楽しさにつながります。楽しさが活動の原動力なのですが、最近はこちらに加えて「この楽しさを多くの人に伝えたい」という思いが膨らんでいます。

今後も、市民の発信場所としてのむさしのFM、むさしのFM市民の会であってほしいと思っています。おめでとうございます。



コミュニティFMむさしの開局の頃

元武蔵野市長 前衆議院議員 土屋 正忠

20 数年前に郵政省(現総務省)のキャリアで、高校の先輩のIさんが市長室へ来て「今度コミュニティFMを立ち上げ電波を割り当てる。市長、開局の第一号にならないか?」と。私はコミュニティ情報の発信のため「是非やりましょう」と答え、準備にかかりました。

ところがI先輩が人事異動で変わった後の担当者は「コミュニティFMは情報過疎の地域に割り当てる」と新方針を伝えてきました。私は「その理念は良しとするが、情報過疎の地域はスポ



武蔵野市とのつながりを忘れません

詩人、元原発強制避難者 小島 力

10 年前の原発事故の最中、都庁から指定されるまま避難してきた私たちを、知る人一人いないこの街で、市役所をとりまく桜並木が五分咲きの花をつけてひっそりと迎えてくれました。

その後様々な市民運動に携わる多くの人々と知り合い、その集まりでは料理講習会にも「えんがわ」のおしゃべり会にも憲法学習会や原発反対デモにも、気兼ねなく呼んで貰えたり、年に数回のシリーズ集会を進めてきた「福島を思う」実行委員会の人々とも、何回もラジオ対談を企画してくれたむさしのFM市民の会の方々、深い結びつきが生まれました。

とりわけ再三訪れたむさしのFMでは、いつも親しくあたたかく迎えてくれたことを今も忘れません。



今や楽しみになった、むさしのtoday出演!!

むさしのtodayレギュラー出演者 鬼頭 麻佐

「むさしのToday」が毎日フレッシュな話題に絶えない番組なのは、コーディネートの皆様のチームワークの素晴らしさのお陰。日程やテーマの割り振りを毎回電話で丁寧に対応してくださるので、安心して出演できています。

5年前、ふとしたことで大変お世話になっているご近所のMさんから気軽に引き継いでしまった当初は、毎月の話題に困るのではと心配でした。しかし、母、PTA、地域ボランティアとして様々な方面へアンテナを張ってみると、意外と季節ごとに地域行事や話題が見つかるもので、たった10分間の出演がすっかり毎月の楽しみへと変わりました。

これからも地域の問題を多くの皆様と共有できる番組として続いてほしいと願っております。



サーも過疎ではないか」と申し上げました。

それから1年経た頃、郵政省から再び連絡があり、武蔵野市も開局してくれませんかとの連絡、そこで武蔵野市が1000万円出資をし、横河電機や民間の会社、市の関係団体等が9000万円、合計1億円出資して「コミュニティFM武蔵野」を設立し、放送が始まったのです。身近な少年野球や市民大運動会等オンエアしてもらい人気でした。同時に市民参加で番組をつくることになり、小美濃珠子さん中村茂美さんとお二人を中心に、「むさしのFM市民の会」を立ち上げて今日まで活動が続いています。

25年間コミュニティFMむさしのを支えて下さったボランティア、スポンサー、職員や関係者の総ての皆様、開局者として心から御礼を申し上げます。



25周年の想い

むさしのFM市民の会初代代表 小美濃 珠子

私 達市民が公共放送に参画してから四半世紀が経ちました。現代のような大マルチメディアが未だに確立されていない25年前に元市長土屋正忠氏が首都圏に初となるコミュニティ放送を武蔵野市へと電波を獲得。私達は第三セクター方式の市民参加の立場で活動を始めました。

試行錯誤をしながら、放送に市民枠を確保する事に没頭の日々を過ごし、今日の基盤がその頃に成されたとするのであれば『週刊きちじょうじ』大橋一範編集長を外すことは出来ません。多くのことを教わり共に歩んできました。合わせて今日迄活動を続行しているむさしのFM市民の会の皆様に敬意を表します。

そして故人になられた二代目代表三浦千恵子さん、四代目代表松岡裕子さんに感謝と哀悼の意を捧げます。

むさしのFM市民の会企画「発信! わがまち・武蔵野人」

コーディネイト番組

あなたのそばの武蔵野人が続々登場!(2019年4/5~2020年3/27 892回~942回)

また1年たくさんの出会いがあり、素敵なお話しを伺いました。生放送終了後のゲストの笑顔が素晴らしい! パーソナリティ伊東かおりさんがベテランの味でゲストの魅力を存分に引き出しています。時間も4:10~4:30になりました。

★毎週金曜午後4:10~4:30 公開生放送・土曜朝10:00~再放送

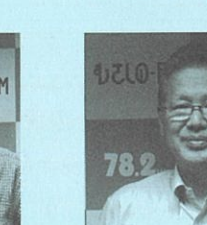
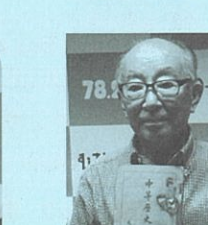
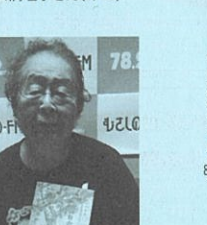
★インターネット同時配信! 世界中で聴けます。

★放送後はHPポッドキャストでいつでもお楽しみ下さい。

ご観覧大歓迎、吉ブラのごついでにお気軽に3階スタジオへお立ち寄り下さい。

◎2019年

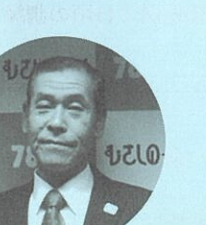
- 4/5 中村真由美さん(北町)吉おばさんキューバ、ベトナムの旅
- 4/12 本田拓夫さん(関前)元バウシアター館主「吉祥寺に育てられた映画館」上梓
- 4/19 友野智子さん(境南)世界遺産認定講師、コミセン、高齢者施設で講演
- 4/26 齋藤理恵さん(南町)マギーズ東京を武蔵野地区に
- 5/3 興安さん(東村山)内モンゴル出身、来日20年水墨画家
- 5/10 野口亮司さん(御殿山)IT企業を起こすには……
- 5/17 浦澤奈美さん(本町)果実園リーベル副店長兼ホールチーフ
- 5/24 下谷廣一さん(北町)武蔵野市の縄文遺跡
- 5/31 邑上守正さん(境南)前武蔵野市長、亜細亜大学客員教授、都市計画プランナー
- 6/7 青木健一さん(東町)子供能楽塾、子供たちに能の楽しさを
- 6/14 山本まさ子さん(東町)ボランティア団体ACHA代表、プラネットカナル広報担当
- 6/21 坂爪いちおさん(三鷹)カンツオーネ歌手、イタリアの友人とコンサート
- 6/28 野口満理子さん(境南)ファンキー、サムタイム、麦グループオーナー
- 7/5 西澤沙苗さん(江戸川)ボサノヴァ弾き語り、講師、武蔵野でライブ活動
- 7/12 平住周恵さん(杉並)吉祥寺手技治療院代表、男の料理教室など在宅介護支援センターでの地域活動
- 7/19 片桐健滋さん(三鷹)映画監督「きのう何食べた?」が話題沸騰、テレビ放映中
- 7/26 松居直美さん(南町)オルガニスト、オルガン同好会、子どもオルガン教室
- 8/2 高橋光子さん(緑町)風船爆弾造りに動員された作家、小説「ぼくは風船爆弾」
- 8/9 水野潔子さん(境)広島女学院専門学校礼拝時被曝、長年に亘り原爆の語り部
- 8/16 竹山悠紀子さん(東町)講演「戦争と私-満州に生まれて-」は、70名の参加がありました
- 8/23 大石芳野さん(御殿山)写真集「長崎の痕」を広める会発足
- 8/30 長谷川鐵夫さん(南町)「戦争の時代を過ごして」



- 9/6 永井清さん(御殿山)井の頭自然文化園園長、はな子をはじめ動物のエピソードや楽しいイベント、文化園は自然に囲まれたオアシスです
- 9/13 中西功さん(西久保)ブックマンション7月17日オープン
- 9/20 原莊介さん、小西智子さん(中町)10月8日なかのZEROホールコンサート
- 9/27 北迫 薫さん(西久保)パン屋・オーフェンオーナー「夜間飛行」作者
- 10/4 野村まり子さん、八田尚子さん(三鷹)野菜の絵本シリーズ さつま芋
- 10/11 須長弘文さん(緑町)武蔵野市アーチェリー協会理事長
- 10/18 浅井信也さん(東町)東部福祉の会副会長 東部フェスティバル
- 10/25 杉浦 良さん(本町)二葉栄養専門学校調理科教師、11月イベント
- 11/1 小森身智世さん(三鷹)三鷹消防署署長
- 11/8 田中邦忠さん(南町)「お父さんお帰りなさいパーティ」実行委員長
- 11/15 田中由佳さん(中町)・佐藤遼さん(境) 田中さんは「しょーとんぱー武蔵野」代表 会計の佐藤さんは、亜細亜大学一般奉仕団「細流(せせらぎ)」所属
- 11/22 塚川さつきさん(御殿山)、宇波昌子さん(北町)朗読お喋りサロン
- 11/29 大野晋司さん(本町)美術玩具作家、MONOギャラリーで個展
- 12/6 田口由紀子さん(本町)ころろダイニング吉祥寺店マネージャー
- 12/13 大竹桂子さん(南町)吉祥寺雑学大学40周年、副学長
- 12/20 竹山悠紀子さん(東町)満州に生まれてその2
- 12/27 竹内雄一さん(杉並区)旧・赤星邸の建物と緑を武蔵野市に保存を願う会

◎2020年

- 1/10 佐々木雄一さん・塚田章宏さん(関前)1月11日遷厩コンサート
- 1/17 高橋みのりさん(西久保)コーラスわかば発表会1月25日
- 1/24 高口章・智美さん(緑町)「スイス食堂ルプレ」の名物は本場スイスの味チーズフォンデュ
- 1/31 中島保さん(船橋)原田宣子さん(東町)井の頭五行歌会員、定年後、子育て後に知った五行歌の楽しさ
- 2/7 志賀和男さん(境南)「クリーン武蔵野を推進する会」会長、環境について多岐にわたる活動
- 2/14 菅原健さん(三鷹)パーキンソン病を抱えながらサテラ三鷹で就労
- 2/21 藤田眺聖、祥子さん(杉並)夫婦で尺八、三味線演奏、祥子さんは女優としても、様々なジャンルに挑戦
- 2/28 小山信夫さん(北町)武蔵野消防署長
- 3/6 須田富昭さん(東町)吉祥寺今昔物語、懐かしい写真もたくさん持参
- 3/13 岡田めぐみさん(緑町)「むさしのスマイル」代表、キビタキの会、原発事故自主避難者『原発事故後の「非常事態宣言」はまだ解除されていません』
- 3/20 吉野真裕美さん(三鷹)まちづくり三鷹 サテラ三鷹担当
- 3/27 小美濃珠子さん(東町)むさしのFM25周年、市民の会初代代表



★吉祥寺チャリティライブイベント「フクシマを思うシリーズ」10年目へ! 協力:むさしのFM市民の会

東京電力福島第一原発事故からまる9年が経ち10年目になりました。「原子力非常事態宣言」は解除されないまま、被災地は政府の復興を強調するキャンペーンとは裏腹に、帰還宣言が出て多くの方が戻って来ていません。また今なお多くの方が故郷を離れて避難を続けています。未だ復興には程遠い状況です。

そんな中「フクシマを思うシリーズ」は思いを共にする皆様に支えられ今後も「福島原発事故をわすれない、風化させない」をモットーに福島の人々に心を寄せ、共に生きていく覚悟の「チャリティライブイベント」を吉祥寺で地道に粘り強く継続していこうと思っています。尚、3月24日、フクシマを思うシリーズ29「原発事故から九年、小児甲状腺がんに寄り添う」は新型コロナウイルス感染拡大で今回はやむなく中止致しました。

(司会・朗読 金子あい) (鎌内啓子 記)

《2019年度開催報告》

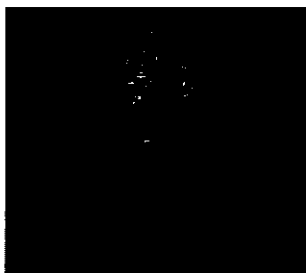
- ◎ 第27回 6/1(土) 武蔵野スイングホール、14:00～
- お話し:小出裕章(元京都大学原子炉実験所 助教)
- 「福島事故と東京オリンピック—棄民の国に抗う—」
- 朗読:金子あい
- 演奏:ピアノ Frederic Viennot (フレデリック・ヴィエノ)



今の日本にとって、福島原発事故の下で苦しみを続けている罪のない人々を棄民にしたままオリンピック開催に躍起になるこの国の現状を小出裕章さんがパワーポイントでデーターを示しながらじっくり語りました。フレデリック・ヴェノさん即興ジャズ演奏も好評でした。

- ◎ 第28回 11/19(火) 武蔵野公会堂パープルホール 19:00～
- お話し:西澤 丞(問題解決型フォトグラファー)「福島第一 廃炉の記録」
- 朗読:金子あい
- 演奏:violin 太田恵資 piano 佐藤允彦

東京電力の協力を得て2014年から福島第一原発事故廃炉の作業を撮影続け迫力ある廃炉の数々の写真を上映しながら撮影時のエピソードも交えながらのトークに会場は息を呑みました。Violin太田恵資さんとジャズピアニスト・佐藤允彦さんの即興演奏に参加者は興奮状態でした。



* 次回のフクシマを思うシリーズは7月7日(火曜日) 武蔵野公会堂パープルホール 19:00～は延期になりました。

☆令和元年度「総合防災訓練」(2019.10.27)中

今年度は、桜堤地域の桜野小学校が会場となりました。参加者はメイン会場参集でしたので、訓練開始前に会場内の、参加団体のブースを回り、準備の様子を見、お話を伺いながら、9時からの放送開始を待ちました。放送の中では、自主防災組織・ペット対策・介護トリアージ訓練などの会場の報告と参加者の声を紹介しました。今年度は台風被害などが大きかったせいか、会場の参加者が多かったようです。昨年は数名だったペットの避難についての関心も高く、参加者が増えていました。いずれにしても、訓練は何回でも体験していただきたいものです。(参加:小餅・中村) (小餅友子 記)

☆令和元年度「合同テロ対策訓練」(2020.2.14)

今年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて爆破テロを想定した訓練ということで、会場は、陸上競技場、総合体育館に。陸上競技場のメインスタンドでの爆破テロによる発災を想定した避難誘導訓練ということで、爆弾処理の様子などが示され、一般の方の知らないところで、有事の際の備えをしている関係機関の日頃の訓練を実感できました。(参加:島津・竹内・中村) (小餅友子 記)